

学校教育目標について

光明台かがやけ学園 <めざす子ども像>⇒光明台中学校区小中で掲げる目標

「自らの課題をみつけ、自ら考え、判断し、行動する子ども」

「お互いの違いを認め、思いやりの心をもって助け合い、支えあえる子ども」

和泉市では、中学校区ごとに小中一貫教育を行っています。光明台中学校区は、施設や組織は別々ですが、小中学校で一貫した目標を設定し、義務教育9年間で、系統性・連続性を配慮した教育活動に取り組んでいます。

グローバル化や技術進歩の加速により急激に変化する社会において、本校を卒業した生徒が、自らの人生を切り拓き、社会に貢献し生きていくために、このめざす子ども像を設定し、生徒一人一人に身につけてもらいたい力を示しています。また、光明台中学校は、以下の目標を掲げています。

光明台中学校 学校教育目標

1. 教育目標

- ・人間を尊重し、助け合い支えあって仲間とともに高まる生徒の育成
- ・自ら考えて、学び、判断し、行動する生徒の育成
- ・命や体を大切にし、根気よく粘り強く取り組む生徒の育成

これらの目標の達成に向けて、次の3点を重点目標とし、組織的に取り組んでいきます。

2. 重点目標

- (1) 豊かな心の育成～仲間づくり
自尊感情を育成し、一人ひとりの生命と人権を尊重した言動ができる、心豊かで、人を思いやり、多様性を認めあえる生徒を育成します。
- (2) 確かな学力の定着～授業づくり
将来を生き抜く基礎となる「確かな学力」と「学びに向かう力」を育むために、主体的・対話的に学び、他者と協働して課題を解決していく力を育成します。
- (3) 特色ある学校～学校づくり
家庭、地域社会と連携・協働し、地域とともにある学校づくりをめざしていきます。

光明台中学校「求める生徒像」

「自分自身を認め、互いの個性を認め合い、みんなのために行動できる生徒」

- (1) 学校教育目標の具現化のためには、教職員だけではなく、生徒一人ひとりが学校教育目標を意識し、実践と評価（学期ごとの振り返り）を行うことが大切だと考えています。
生徒一人ひとりの個人目標の設定と達成状況から、学級・学年・学校全体の評価を確認していきたいと考えています。（評価指標は、学校教育自己診断）
- (2) 「つなぐ、つながる」教育活動を大切にする。
授業における教科と教科のつながり、授業と行事のつながり、授業と日常生活とのつながり、小中のつながりなど、人と人とのつながりを意識した教育活動を展開し、学校教育目標の具現化を図ります。